社会資本総合整備計画　　防災・安全交付金

令和08年01月16日

計画の名称	安全で安心な地域の交流拠点の形成（防災・安全）												
計画の期間	令和０８年度　～　令和１１年度　(4年間)									重点配分対象の該当	○		
交付対象	各務原市												
計画の目標	災害時に市民の救助・救援活動等を行う各機関が一同に会して拠点を構えることができる防災機能を有する公園整備を行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	10,754	A	10,754	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R8当初		R11末
1	活動拠点に加えて指定一般避難所としての機能を有しており、避難可能となる人数が19,168人から20,768人に増加			
	一人あたりの避難面積が5.8㎡/人必要とした場合 総合運動防災公園以外の施設の収容可能人数19,168人＋総合運動防災公園の収容可能人数1,600人＝20,768人	19168人	人	20768人
2	年間に実施される各種防災啓発イベントの延べ参加者数が10,000人から25,000人に増加			
	防災機能を有する総合運動防災公園において様々な防災啓発イベントを実施し、その参加者を増やすことにより、市民の防災意識が向上 総合運動防災公園整備前の防災啓発イベントの延べ参加者数10,000人＋総合運動防災公園で実施予定の各種防災啓発イベントの延べ参加者数15,000人＝25,000人	10000人	人	25000人
3	市の防災対策が進められていると思う市民の割合が32%から35%に増加			
	令和7年度市民満足度調査の結果、各務原市は防災対策が進められているまちだと思うと回答した18歳以上市民の割合 32%（当初）＋3%＝35%	32%	%	35%
4	災害時応援協定の締結相手方が96者から130者に増加			
	防災機能を有する総合運動防災公園の整備を通じて、他自治体や市内外の民間事業者に本市の地域特性や防災事業について関心を持っていいただくことで、災害時応援協定の締結相手方が増加 96者（当初）＋34者＝130者	96者	者	130者

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000701942

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R08	R09	R10	R11	R12	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	各務原市	直接	各務原市	－	－	総合運動防災公園整備事業	防災拠点となる公園の整備（園路広場、修景施設、運動施設等）4.1ha	各務原市	■	■	■	■		10,754	4.54	策定済
											小計						10,754		
											合計						10,754		

案件番号： 0000701942